



議会だより

# おおえ

2013.1.24

No. 126

新年の挨拶 ..... ②  
 12月定例会 ..... ③  
 補正予算 ..... ④  
 一般質問 ..... ⑥  
 行政調査/総務文教常任委員会 ..... ⑧  
 行政調査/産業厚生常任委員会 ..... ⑨

ぞうりを作り続けて70年 まだまだ現役です

行政調査/議会広報常任委員会 ..... ⑩  
 総務文教常任委員会協議会 ..... ⑩  
 町村議会議員研修会/大江・西川両町議会議員協議会総会 ..... ⑪  
 平成24年第4回臨時会 ..... ⑫  
 私からも一言/編集後記 ..... ⑭



平成25年



議長新年の挨拶

明けましておめでとうございます。



小野祐一議長

昨年4月17日議長に就任させていたただいてから8ヶ月、町民の皆様のあたたかいご理解とご指導を賜り厚くお礼申し上げます。

また昨年は当議会においてはいろいろなことがあり、皆様にはたいへんご心配をおかけいたしました。心からお詫び申し上げます。

元来町政の主役は皆様であり、議員の使命は公僕として町民の皆様の生活を守り、大江町の発展のために資すること

とにあります。議員個々の主義主張は違っても、小異を捨てて大同に立ち、議員本来の活動に徹していかなければなりません。議員一同開かれた議会を目指して頑張っておりますので、本年もよろしくお願ひ申し上げます。

国政は昨年末の総選挙により政権が変わりましたが、わが大江町はこれからも、町民の幸せと魅力的な町づくりに向かって、力強く、着実に進んでいかなければなりません。

町民各位の尚一層のご指導ご協力を重ねてお願ひ申し上げます。この一年が皆様にとつて実り多い、明るい年でありますように祈念申し上げます。新年の挨拶いたします。

庁舎リニューアル



内装工事を終えた議員控え室

昨年中に庁舎耐震工事と外壁塗装工事を行いました。屋上防水加工工事は3月末に完成予定です。また、3階議長室、議員控え室のリニューアル工事も終了し、議員一同心機一転し、新たな気持ちで町の諸課題に取り組んでまいります。町民の皆様のご指導、ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

# 12月定例会

「人権擁護委員候補者の推薦につき

意見を求めることについて」

次の2人の方について、全会一致で適任と認め推薦に同意しました。

佐藤 廣子さん（十三区）



鈴木 修一さん（月が丘）



人権擁護委員である佐藤廣子さんが平成25年3月31日をもって任期満了となることから、再度推薦するもので、全会一致で適任と認め同意しました。

佐藤さんは人格、識見共に高く、広く社会の諸事情に通じ、地域社会の信頼も厚い方です。

引き続き、活動に対して手腕を発揮されることを期待します。

人権擁護委員である大沼敬さんが平成25年3月31日をもって任期満了となることから、後任に鈴木修一さんを推薦するもので、全会一致で適任と認め同意しました。

鈴木さんは大江町役場の教育課長、議事事務局長を歴任され、退職後は社会福祉協議会の事務局長として勤務されました。人格、識見共に高く、広く社会の諸事情に通じ、地域社会の信頼も厚い方です。

人権擁護委員として今後力を発揮されるよう期待します。

## 専決処分

●平成24年度大江町

一般会計補正予算

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1千950万円を追加し、歳入歳出予算の総額を5億4千880万円とする。

内容は、衆議院議員選挙の実施に伴う経費及び、道路除雪費として、左沢駅前と上小漆川地内の消雪道路の施設改修工事費（追加）です。平成24年11月19日付けで専決処分されました。



左沢駅前井戸ケーシング工事

## 《議第68号》

大江町防災会議条例の一部を改正する条例の制定について

災害対策基本法の一部改正に伴い、防災会議の権限が強化されました。町長の諮問に応じて町の地域に係る防災に関する重要事項を審議し、町長に意見を述べることができるようになりました。

災害対策本部を一元化するとともに、諮問機関としての機能を持つようになりました。

また委員も拡充され、自主防災組織の構成メンバーなどからも委員（3人以内）が任命されることになりました。

## 《議第69号》

大江町災害対策本部条例の一部改正について

災害対策基本法の一部改正に伴い条文を変更するものです。



大江町洪水避難地図

# 平成24年度 一般会計予算

## 1,720万円を追加補正

補正後の総額は **50億6,600万円**

### 補正予算

平成24年度一般会計予算に1千720万円を追加、補正後の総額は、50億6千600万円です。

#### 《主な歳入》

一般寄付金（追加） 470万円  
町債公営企業緊急防災、減災事業費 660万円

#### 《主な歳出》

財政調整基金（追加） 769万円  
障害者福祉サービス費（追加） 1千584万円

児童福祉施設の賄材料費（追加） 96万円

活力ある園芸産地創出

支援事業費補助金（追加） 373万円

大江町型住宅改修工事費 119万円

健康温泉館改修基本設計等委託料 300万円

道路新設改良費用地費（追加） 610万円

公共下水道事業特別会計は53万円を減額し、総額が2億8千807万円に。水道事業会計の収益的収入及び支出に4万円を追加し、総額は2億4千204万円になりました。（全員賛成）

### 主な質疑

**問** 歳入の寄附金470万円の使い道について、寄附した方の意向に沿うように、プレミア付き商品券の財源にしたり、子供会に配分したりする案について伺う。

**答** 来年度の予算策定までに、教育、商工業振興に役立つ使い道を考えます。



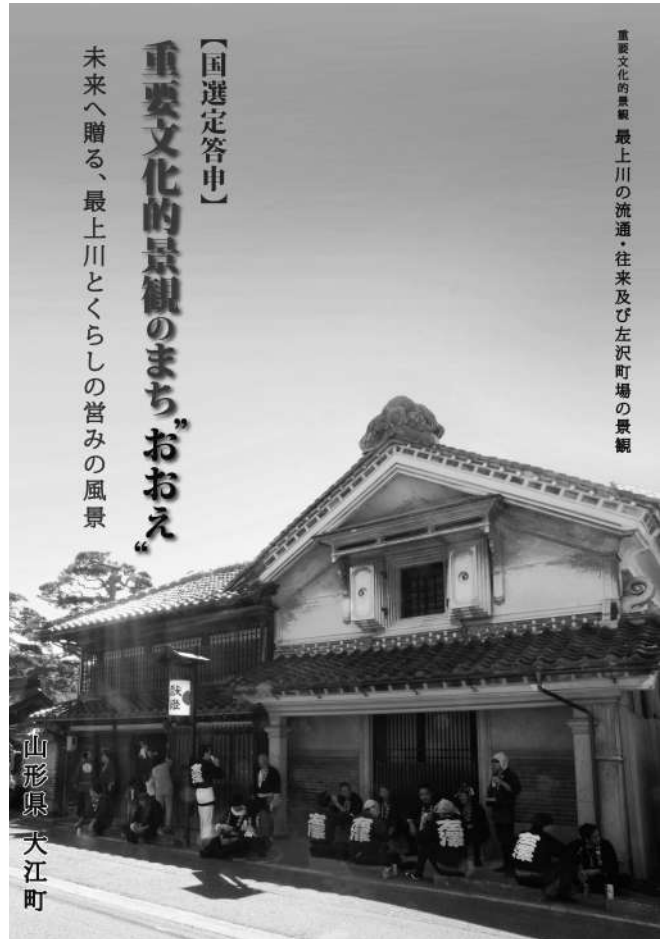
多くの人が集まった水郷大江舟唄場所。収益金の一部が町に寄附されました。



大江町型モデル住宅内部

**問** 大江町型住宅に予算の計上が多くあるが、どのように使うのか。

**答** 現在、展示だけのモデル住宅に宿泊機能を持たせて、より良い販売促進を行うための登録、整備費用です。



山形県 天江町

**問** 文化財保護費の各委託料（追加）の内容について。重要文化的景観の認定に向けてのためと思うが、大江町らしさを出す工夫をしないのか。

**答** 各委託料の追加は、炭素によって発掘品の年代識別ができる調査、シンポジウムにおけるパンフレット代等で、現在は、認定に向けて努力しているところです。ソフト面はこれから煮詰めてまいります。

**問** 障害者福祉サービス費（追加）

について、1千584万円と金額が多いが、対象者が増えたのか、内容を伺う。

**答** 障害者が普通の会社に勤める場合の支援金等で、ひざ関節、股関節痛の方の支援などもこのサービス費に含まれることから、対象者が、64名から73名に増えたことが追加の理由です。

**問** 健康温泉館改修基本設計等委託料300万円と社会福祉協議会補助金77万円（柏陵荘）の追加について、内容と作業工程を伺う。

**答** 健康温泉館で実施した耐震診断の結果を踏まえ、建て替えか、耐震補強するかを決定するための調査委託料です。多くの選択肢がある内容で、その都度意見を伺います。柏陵荘に関しては、老朽度調査費用です。



改修が予定される健康温泉館

**問** 活力ある園芸産地創出支援事業費補助金（追加）について。過去にも何件か県からの支援補助金があったが、区や隣組にも入っていないような対象者もいるようだ。申請時に身元確認等をしっかりとや

っているのか。

**答** 現在は、町民税等の納税義務を果たしているかの確認が、申請要綱にあります。今後は、地元の方にも話を聞きたいと思えます。

**問** 下水道の埋設、延伸工事は、何年までを目標にしているのか。

**答** 平成30年から32年の間に完了したい。その後は、合併処理浄化槽を勧めていきたい。



小見地区下水道延伸工事



士田 勵一 議員

**Q** 行政視察・調査に職員を派遣すべきではないか

**A** 議会として調査すべきと思う

**質問** 町づくりには視察・調査研修は最も重要であり、目的によって異なりますが、議会から職員派遣の要請があった場合、派遣すべきと考えるが、町長の見解を伺います。

**町長** 議会による行政調査における研修としての職員の派遣については、調査内容等をその都度個別に十分な検討を行い判断してまいりたいと考えております。

議会における行政視察については、地方自治法第100条第1項第13号の規定により「議会は議案の審査又は、当該普通地方公共団体の事務に関する調査のためその他議会において必要があると認めるときは、会議規則の定めるところにより、議員を派遣することができる」と規定されております。

行政と議会はそれぞれ、三権分立の独立性がそれぞれあるわけですし、そうした立場から、同時平行して行われることは、やや難しい面があるのではないかと、議会は、議会としてきちんと調査すべきではないかと思っております。



小水力発電についての行政視察

また、職員が同行することについては、行政調査の本来のあり方である委員会活動であることからすれば、基本的には行政視察に同行や随行は求めないのが通常のあり方ではないかと考えています。

**議会の動き** (平成24年10月～12月)

10月

1日 広報常任委員会

4日 広報常任委員会

10日 産業厚生常任委員会行政視察(北海道東川町)

11日 産業厚生常任委員会

15日 行政視察(北海道下川町)

16日 町村議会議員研修会(山形市)

18日 大江・西川両町議会議員協議会役員会(西川町)

19日 村山・置賜議長会

24日 合同研修会(高島町)

25日 西村山地方総合開発推進委員会重要事業に係る

25日 県知事との懇談会(河北町)

30日 広報常任委員会

31日 総務文教常任委員会行政視察(広島県北広島町)

31日 総務文教常任委員会行政視察(高知県仁淀川町)

11月 市町村行政懇談会(県庁)

11月 全員協議会

11月 大江・西川両町議会議員協議会総会(西川町)

11月 地方自治法の二部改正に伴う説明(自治会館)

11月 広報常任委員会行政視察(新潟県聖籠町)

12月

8日 村山地方町村議会議長会研修(石巻市)

14日 町村議会議長全国大会(東京 NHKホール)

15日 町村議会議長行政セミナー(東京 全国町村議員会館)

21日 群馬県吉岡町議会運営委員会行政視察来町

26日 議会運営委員会

5日 第4回定例会(7日まで)

7日 広報常任委員会

11日 大江・西川両町議会要望活動(山形市 村山総合支庁)

14日 広報常任委員会

20日 広報常任委員会

21日 議会運営委員会

27日 大江・朝日両町議会議員協議会役員会(朝日町)

27日 第4回臨時会

**お詫びと訂正**

前号125号の3ページ2段目の写真と消防設備費の文章の中で「解体撤去」とありましたが、正しくは「修理」でした。お詫びして訂正します。



安食 幸治 議員

**Q** 学童保育の年齢延長はできないか

**A** 様々な課題に対する多方面からの検討を継続

**質問** 「大江町次世代育成支援対策実行計画」に明記していることですが、「学童保育の充実」として、現在実施している放課後児童健全育成事業の充実や、多様なニーズに対応できる学童保育体制の検討などの支援強化に努めますとあります。

学童保育は現在小学3年生までです。4年生以降も学童の居場所が必要だと思いが、どうか。「子育てタウン美郷」と称して、町内外から、若い子育て出産世代の人々をこの大江町に呼んだのですから、その期待を裏切らず、不安を軽くする一助として検討してはどうか。

**町長** 当町では小学校3年生までの厚生労働省所管の「放課後健全育成事業」部分と、小学校4年生からの文部科学省所管「放課後子ども教室推進事業」の、二つの事業をそれぞれ連携する中で、児童の放課後における安全で安心な場を確保しています。

また、児童にとって、それぞれの学校内に放課後の居場所があることがより望まれるところですが、様々



学童保育に利用したい教室

な課題を含んでおり、改善すべくどのような対策が可能なのか、さらには民間の事業者と調整を図りながら、多方面からの検討を継続していきま

**Q** 「志田周子」先生を観光資源に

**A** 観光資源とするのは困難

**質問** 志田周子先生を私が知ったのはつい1年前であります。「おしん」も大明神下の筏口ヶだけであります、それだけでもあの感動的なシーンで来町者も多くいます。

志田周子先生に関しても、この町で生まれたという事実だけですが、ストーリーの構成次第では観光資源として充分成り立つと思います。大江町と西川町を結ぶ絆の一つとして志田周子先生を取り上げてみたいのではないかと。

**町長** 町の観光資源として活用することは、志田周子氏との繋がりのある知人等が現存するとか、当時の生家が残っているようなケースでなければ、観光での誘客は非常に困難と考えています。

昔から大江町と西川町は交通や医療での関わりは非常に強かったことから、今後も周子女医における関わりだけでなく、道路整備、教育・文化交流等様々な連携による事業の展開について検討します。



在りし日の志田周子先生

志田周子先生の略歴

明治43年 西村山郡左沢町に生まれる

大正3年 大井沢に転出

大正12年 大井沢尋常小学校卒業

昭和3年 山形第一女学校卒業

昭和8年 東京女子医学専門学校卒業・医師免許取得

昭和10年 大井沢診療所医・村医・学校医となる

昭和37年 51歳癌のため死去

辺地医療活動に対し、数々の表彰を授与されるとともに、一方婦人会長・村議・町議等多くの役職を兼任しつつ「赤光」に拠って作歌に励んだ。生涯独身のまま地域医療に捧げた人である。志田周子先生をモデルとした小説・ひとり芝居等がある。

# 行政調査

平成24年度の行政調査は10月24日(水)～10月26日(金)に行われました。

小水力発電事業について、広島県北広島町川小田発電所を調査しました。

川小田発電所は県の北部にあり、隣は島根県で、中国山脈の懷に位置しています。

農林水産省の農村総合整備事業、起債(公営企業債+財政融資資金)などで、総工費14億322万円で作られ、平成15年4月送電を開始しています。

目的は、北広島町における農業の振興や都市農村交流を進めるため、本地区に存在する豊富な水資源や急峻な地形を生かし、大田川水系滝山川に最大出力720kwの小水力発電所を建設したものです。

発電された電気は、農業関連施設、芸北オークガーデン(源泉ポンプ、グランドゴルフ場、ふれあい広場)、集落排水処理施設、親水公園、温室(ビニールハウス)などに利用されています。



北広島町の川小田小水力発電所

# 総務文教常任委員会

発電のメリットは、町有施設に安い単価で販売することが可能となったことで、運営コストの低減に繋がっています。

本町でも検討すべき課題と考えます。

休校(廃校)の活用について、高知県山県郡仁淀川町しもの郷を調査しました。

仁淀川町は北に四国山脈が連なり、東西に仁淀川が流れる、自然豊かな、人口5千622人の小さな町です。

今回は、廃校を利用した「しもの郷」を調査してきました。

平成12年3月の下名野小学校休校に伴い、平成14年2月に下名野小学校活用計画地域検討会が設置されました。

平成16年3月に廃校になり、10月から校舎の改修工事をし、翌年の平成17年4月に「しもの郷」を開設しました。

下名野川地区内8つの小規模な集落地区住民みんなで、全員参加型の組織である「しもの郷運営委員会(53名)」を立ち上げ、町指定管理者として委嘱され現在に至っています。

しもの郷施設は、宿泊兼多目的交流施設を1階に配置し、事務所・食堂兼居酒屋・多目的室・宿



教室を改造し宿泊施設に

直室も1階にあります。2階には和室4部屋、図書室兼パソコン室があり、別棟には風呂、体育館、木工所などが整備されています。廃校利用は、わが大江町にとって大変参考になるものであり、検討すべき課題ではないかと思いましたが。



# 産業厚生常任委員会

平成24年10月10日～10月12日、  
北海道上川郡東川町と同郡下川町  
へ行政調査に行ってきました。

## 1 東川町調査（10月10日（水））

「子どもを産み育てやすい町づくり」（不妊治療に係る助成制度など）について

東川町は、西部は上川盆地の農業地帯、東部は大雪山の山岳地帯に囲まれた人口7千950人の町で、大雪山系の伏流水があるため水道のない町でした。

1995年の国勢調査で毎年人口が減り続けることに危機感を覚えた町の対策は「子育てしやすい町づくり」であり、その後、若い夫婦に的をしぼり、「子どもを産み育てやすい町づくり」へとレベルアップし、以後17年の間に人口が730名増えました。

主な施策は本町の子育て支援事業と似ていますが、東川町は、土地開発公社が行った子育て支援のついた宅地分譲（5箇所）を行い、また、町内4箇所にある保育所と幼稚園を統廃合し、幼保一元化施

策として平成14年に開設していました。



生まれた子どもに提供する「君の椅子」

不妊治療への取り組みとして、治療を受けられる条件は、「夫婦いずれも東川町に住んでいること」とで、人口増を考えた対応をしていました。

また、子育てウェルカムプランと称し、婚姻届を出される方に「記念台紙」、生まれた子どもに「君の椅子」をプレゼントするなど多くの工夫をこらし、「子どもを産み育てやすい」町づくりにか

ける思いが感じられ、意義のある行政調査となりました。

## 2 下川町調査（10月11日（木））

「環境に配慮した森林づくりと家づくりの連携」について

下川町は面積の90%が森林に覆われており、本町と共通点の多い町です。

エゾマツ、トドマツが主要な木種で、毎年50haの植林を続けることで「植林50ha×伐採60年」（伐採↓植林↓育成↓繰り返す）の循環型森林経営を構築しているため、この仕組みが、雇用の場の確保と安定的な林産物の供給につながっていました。

8企業10の工場・団体が連携し、1本の原木は円柱・集成材・木炭に加工しており、その際に出る端材などは木質バイオマスボイラー燃料に、未形成炭は土壌改良材や融雪剤に、木炭製造の副産物として生じる木酢液は木材に浸透させて燻煙材に利用していました。

また、トドマツの枝葉はNP0法人森の生活で精油（アロマオイル）に、間伐材等々は割り箸の原料として活用していました。

下川町は平成20年に「環境モデル都市」として認定され、森林活用を中心とした低炭素化の取り組みを進めています。

みを進めています。

豊富な森林資源から木材を使いきれるまで使い、最大限に収益を得続ける自立型の森林総合産業を構築し、森林バイオマスを中心とした再生可能エネルギーによるエネルギーの完全自給と域外燃料供給の実現を図っています。

森林から学び、楽しみ、心身の健康を得ながら木に包まれた心豊かな生活を送っている様子は、西山杉という優良杉材に恵まれている本町として学ぶ点が多くあります。

また、モデル住宅の説明用DVDを業者に作成依頼しており、本町のモデルハウス展示場にもぜひ採用してはと感じたと思います。



下川町五味温泉モデル住宅で説明を受ける

# 議会広報常任委員会

平成24年11月6日(火)～7日  
(水)に議会広報常任委員会の行政調査を行いました。

調査場所は、新潟県北蒲原郡聖籠町議会です。

聖籠町は新潟市の北隣に位置し、新潟東港、火力発電所など新潟地区新産業都市建設計画の中にあり、安定した収入があるため、保育料を無料にするなどの施策を実施しています。

また、新潟、新発田両市のベッタウンにもなっており、人口は1万4千128人(平成23年)で微増となっています。

議会だよりは、昭和63年2月創刊以来、平成24年10月で100号になっており、町民から読んでもらえる広報紙づくりを目指しています。また、定例会1週間前に1回目の委員会を開催し、定例会閉会后30日以内の発行を心がけています。

聖籠町の議会だよりは、町村議会広報全国コンクールで数々の賞を受けているだけに、学ぶところが多くありました。

# 総務文教常任委員会 協議会

平成24年9月21日(金)行政調査事項に係る大江町の状況把握のため、「小水力発電事業に係る現状と課題について」を政策推進課より、「学校休校の現状と課題について」を学校教育課より説明を受け、研修しました。

小水力発電について、流水を利用して発電する場所が限られており、水利権等の法的手続きが非常に複雑で面倒なこともあり、農林課、土地改良区と力を合わせて取り組む必要があります。

北堰、南堰、月布堰等町内にある堰の中で、小水力発電の可能性がある場所は3ヶ所位とのことでした。また、町有施設を利用した太陽光発電の可能性については、役場庁舎の耐震化診断時における専門家の意見では、役場本庁舎の屋上には太陽光発電装置を取り付けることが困難と判明したので、側面を利用した太陽光発電や、体育センターの屋根を利用した太陽光パネルを2、3年後に設置したい考えでした。

また、「休校の現状と課題」について、七軒西小と七軒東小を視

察しました。

七軒西小は6年間しか使用していないため、木材をふんだんに取り入れた校舎内は今でも大変きれいですが、年に数日間、芸工大学生と小学生が一緒に利用するだけとなり、冬季は、体育館屋根の除雪に200万円近い費用がかかるということです。

七軒東小では、調理室等を地元の見地区の女性たちが立ち上げた「山の幸」が利用しているのでも手入れが行き届いていました。さらに、校舎1階は町内で発掘された遺跡の保存、図書室の古本の保存に使われています。2、3階は古民具の展示、集積場所となっております。校舎を比較的上手く利用している感じがりましたが、七軒東小も年間の維持費が100万円以上もかかるので、両校ともさらに効果的な運用方法を検討しなくてはと痛感しました。



先進地の広報紙づくりについて研修



人力車 七軒東小蔵

# 町村議会議員研修会

10月15日、山形市の国際交流プラザ「ビッグウイング」にて県内22町村の議員が集まり、経済ジャーナリストの東谷暁氏と政治ジャーナリストの泉宏氏を講師に迎え、講演会が開催されました。

前半は東谷暁氏が「今後の日本経済とTPP（環太平洋パートナーシップ）」について話され、世界経済減速の中の経済政策を含め、最近のニュースからアメリカによるTPP参加への圧力は止まらず、日本がTPP参加に向け提携した場合、何をもちたらすのか：等、ヨーロッパ諸国も含め、グローバルな観点から慎重に議論しなければ日本の国益にはつながらないことを強調されました。

また、「自由貿易をすればお互いに得をする」というのは誤りで、FTA（自由貿易協定）、NAFTA（北米自由貿易協定）の事例を参考にあげて提携国に何をもちたらすのか：を説明され、さらにTPPの中でアメリカが要求する農産物のほか、日本の医療産業への市場原理導入は痛みの伴う危険性があると警鐘を鳴らしました。

最後に、日本はむしろ国内に目を向けて、TPPから距離を置いた方がいいと力説されました。日本政府はTPPの問題をどうとらえていくのかを理解できた有意義な講話でありました。



経済ジャーナリスト 東谷 暁(さとし) 氏

後半は泉宏氏が「今後の日本の政治」について、当面の政治日程（予測）を中心に話されました。

予測は的中し、11月16日解散、12月16日に衆議院選挙が実施されたわけでありました。

その他、今後の政治日程（2013年以降）として、1月中旬に

来年度予算案決定（提出は月末に）、1月21日通常国会召集、3月末に平成25年度予算成立、7月21日参議院選挙、8月中旬社会保険抜本改革で国民会議が結論を出し法案化へ。10月上旬に消費増税2014年4月から8%実施を閣議決定、2014年4月1日から消費税が8%となり、10%は2015年10月から実施と語りました。官邸記者クラブの田中角栄首相番としてスタートし、永田町・霞ヶ関で政治を見続けて36年、20人の総理大臣を直接取材してきた経験に裏付けされた説得力のあるお話しでした。



政治ジャーナリスト 泉 宏 氏

平成24年11月1日（木）、大江・西川両町議会議員総会を開催しました。総会開催に先立ち、課題場所の現地調査を行いました。主要地方道貫見間沢線（県道）の貫見側の急カーブ、西川町の東原から長沼間の改良を要する区間、西川町芦沼田から大江町小柳の幅員狭小区間を視察しました。

その後、両町町長、阿部県議を迎え、協議会総会を開催しました。県道大江西川線、貫見間沢線の整備促進を早期着手することについて、県知事はじめ県担当部署に要望することを決議しました。

## 大江・西川両町議会 議員協議会総会



大江町長等からごあいさつを頂きました

# 第4回臨時会

## 報

## 告

### 渡邊町長より

大江町中央公民館、大江中学校寄宿舎の耐震審査の結果について報告いたします。

大江町中央公民館においては耐震審査の結果1階、2階とも東西方向、南北すべての方向において耐震性が不足するとなっております。

震度6から7程度の地震において「地震の振動及び衝撃に対して崩壊または倒壊する危険性がある」と判断され、補強の必要があるとされております。

大江中学校寄宿舎についても1階、2階とも東西、南北においても、判定結果は中央公民館と同様でありました。

耐震診断結果を受けて、それぞれの施設の今後のあり方等も踏まえた早急な検討を行い対応してまいります。

### 専決処分の報告について

平成24年度大江町役場庁舎耐震改修等工事請負契約の一部変更

変更前 8千85万円  
変更後 8千321万4千600円

### 変更理由

#### 主な内容

老朽化が著しい一部にFF式暖房機の更新および議長室、議員控え室の内装改修工事などです。

### 議第73号

平成24年度大江町一般会計補正予算(第8号)  
住民投票を行うための経費を補正するものです。

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ690万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ、50億7千290万円とする。

歳入 地方交付税 690万円

歳出 選挙費(住民投票費) 690万円

### 採決

賛成 10名

反対 1名

以下、採決にあたっての討論の一部を抜粋して掲載します。



耐震審査結果が出た中央公民館

# 討

# 論

## 反対討論

今井茂樹議員

平成23年12月6日の定例会において、私は全議員から辞職勧告決議案をつきつけられました。

新聞報道だけを鵜呑みにして辞職勧告決議案を可決いたしました。風評のみを根拠として、検挙も起訴もされていないものに対する議員辞職勧告決議は前代未聞であり、しかも辞職決議そのものも法的名分もないのに、有権者に選ばれた特定の議員の進退に対する決議は、違法、憲法違反の疑いもあるといわれているのにも関わらずであります。

結城元議長に対する議員辞職勧告決議案は私の意見を申し上げ否決しました。

私の件に対しては、時間の経過とともに、大江町議員の半数の方が、私に対する辞職勧告決議案が間違っていたのではないかと気がついてくれたようであります。

しかし、昨年の議決の時にそのような意見を述べる見識を持った議員は一人もいなかったことは今

もって失望を禁じえません。

いまだに半数の議員はそのことに気がつかず、議員辞職勧告の可否がリコールの対象になるかならないかの判断で行動していることは、論理を著しく欠くものとしか言いようがありません。

地方自治法80条解職請求は性善説に沿って制定されているものであり、今回のように悪意を持って行使するものでなく、残念ながら悪意をもって行使することに対する規制はございません。

解職請求要旨が事実と相違し虚偽であっても、形式を具備すれば、選挙管理委員会が受理しなければならぬという性質の法律であります。

以上の点から、私の一切法に触れることのない、事実を曲解した辞職勧告の可否を理由に、私を大江町議会から排除するための個人の解職請求活動を行うことは不当なことであります。

よって、この予算の行使に対して断固反対します。

## 賛成討論

松田敏男議員

ただ今、今井議員の、法的には全然根拠がない、そういういわれ

は一切ないと発言がありました。

昨年11月1日の大江・朝日両町議員の懇談会の後行われた懇親会の席上で、懇親会でありますからそれぞれの議員が酒を召し上がった、そして懇親を深めました。

今井議員はおちよこ1、2杯口にしたなどと言いますが、私は両サイドにいた朝日町の議員に「何杯位注いだのか」と聞いたところ1、2杯だけではないもつと多く飲んだ、そして酒をついで回った、それを多くの議員が見ている、それを立件されないことを理由に、おちよこ1、2杯で法的には根拠がないと言ひ、そのようなことは言い逃れであって、正当に通るはずがないと私は信じます。

その後、消防団に絡んだ話を聞いてみますと、かなり強い口調で、しかも15分くらい絡んできた。当時消防団は新しいポンプが入ってきて、スイッチがどこにあるのか、器具がどこにあるのか点検をしていた。それを見た今井議員は、「常に訓練をやっていないからこういうことになるのだ、有事の際はどうするのだ、分団長出てこい」とこのような口調で延々と15分くらい続いた。分団長はこぶしを振り上げ、取っ組み合いのけんかになるところだった。それを団員が

止めに入ったくらいだ。

その後、今井議員は車を駐車場からバックして駅前の方に運転して出ていった。それを15人ほどの団員が見ている。そのことが新聞に報道された。それを、町民に説明もしないで、立件されないことを理由に、わたしはやましいことはしていない、法的には何の根拠もないと言っていることが、はたして町民に通用するだろうか。

今回の2千989名からの署名をどのように考えるのか。報酬をいただいている議員としての行動か。延命することが大江町議会議員としての姿だろうか。直ちに、潔く議会議員を辞職することが本来の姿であろうと思うのであります。

今回の補正予算690万円は、町民の血税をこんな形で使ってもらいたくないと思っっている町民が多くいると思います。しかし、今井議員は延々と引き伸ばし、未だに議員として居座ろうとしています。そういう彼の姿を見たときに、どうしてもこの手段に訴えなければならなかったのです。

そのような690万円でありますので賛成意見を述べさせていただきます。

他に菊地勝秀議員も賛成討論を行いました。

# 私からも一言



伊藤 茂勝(小見)

今、現役の若い世代の方々が、年金と税には大変関心をもっています。将来にわたり安心して希望をもって過ごすことができますよう、国、県、町当局には実効ある施策をお願いしたいところです。

国会では議員定数の削減、議員報酬の削減、国家公務員の給与削減等が検討されており、大江町議会も見習ってぜひ実行してほしいところです。

また、議員の感覚と町民

の感覚には相当の「ズレ」があると、ほとんどの町民が思っているはずで

なく、「あっぱれ」を頂きますよう、賢識ある議会活動をお願いいたします。

平成25年度からは、民主党から自民党に政権が変わります。政権公約で約束したことを忠実に実行してもらい、安心して暮らせるよう期待しております。

わが大江町には二度にわたる議員の不祥事があったと思います、それを教訓とし、他の市町村の「模範」となるような議会運営を切に願うものです。

昭和時代の高度経済成長も経験し、自分なりにいい時代に生きることができたのだと、感謝している団塊の世代の私です。

## 12月定例会において町長、教育長から次のおり行政報告がありました。

### \* 農業委員会委員

明石 栄七氏  
土地改良区選任委員として再任しました。

### \* 職員採用

上級行政職10名、初級土木職4名の応募があり、一次、二次試験の結果上級職1名に採用内定の通知を出しました。

### \* 県立朝日学園における学校教育実施に関する協定書の締結

朝日学園における学校教育の導入に関し、園内に左沢小学校及び大江中学校の分校設置に関する基本的な事項に合意し協定書を締結しました。



分校が設置される朝日学園

\* 重要文化的景観として、国の文化審議会は「最上川の流通・往来及び左沢町場の景観」を文部科学大臣に選定するように答申しました。

## 編集後記

北海道下川町に行政調査に行った際、フブの森(トドマツの森の意味)という工房に顔を出し、トドマツの枝葉を活用したアロマピローという枕を買ってきました。

自然のトドマツの香りがする枕に眠りもスツキリし、健康枕のような気がしております。工房には他に、化粧水、樹脂芳香、ソープも陳列されておりました。

樹木は異なるが本町には西山杉があり、大江町型住宅のような杉の香りと肌のぬくもりを感じさせるほか、春から夏にかけての森林浴は、心身を整えてくれる療法のような感じがします。

今後も、西山杉の利活用促進・開発に頑張りたいと思います。(記・宇津江雅人)

### 【発行責任者】

◆ 議長 小野 祐一

### 【大江町議会広報常任委員会】

◆ 委員長 伊藤慎一郎

◆ 副委員長 安彦 勉

◆ 委員 宇津江雅人

◆ 委員 安食 幸治